



高尾山フィールド調査

夏季編

【 学 習 内 容 】

生物多様性について	別教材を使用・授業で解説
調べ学習Ⅰ（情報活用）	本誌を使用・授業で解説
調べ学習Ⅱ（調査研究のまとめ）	授業で解説・発表展示
高尾山フィールド・リサーチ	本誌を使用
プレゼンテーション	授業で解説・授業で発表

ESD教育：探究型環境教育授業テキスト

八王子市立由井中学校



高尾山を極めて、生物多様性を学ぼう

校外学習（高尾山）での学びを始めます。八王子市のこの恵まれた自然環境を活用して、今日的課題の『生物多様性』を学習します。自然を学ぶ鉄則は、まず実際に体験すること。その体験をもとに考えを深め、さらに予想を立て、工夫しながら調べて取り組んでいくことで、科学する心（科学的リテラシー）を育成することができます。

インターネットの普及した現在では、調べ学習はたいへん便利になりました。しかし、驚きや感動などの実体験を伴わない情報のみでは、その後の深まった学習に発展させることはできません。実際の体験を通して学ぶことは（たとえ嫌な体験であったとしても）、特に理科や社会、実技教科の習得には欠かすことができません。そのような意味では、“高尾山での学び”はまさに“真の学習”を展開するビッグ・チャンスです。

高尾山でのフィールド調査や図書、インターネットを活用した調べ学習を通して、さらに深く探求する方法を皆さんに習得して欲しいと思います。さらに、学習した成果を発表することを通じてプレゼンテーション力を磨きます。

今後、この学びは2・3年生の理科で学ぶ「生きもの同士のつながり（食物連鎖）」や帰化動物・外来生物など、遺伝子の多様性や環境問題、外来魚の解剖実習につながっていきます。君たちの積極的な学びへの参加を期待しています。

最後に、本テキストの作成に関しまして、高尾ビジターセンターの村上友和氏と福世健吾氏より多大なるご協力をいただきましたことを深く感謝いたします。

校長 和田 薫

☆ 生物多様性とは

生物多様性とは、生きものたちが長い進化の歴史の中で築き上げてきた、豊かな個性とつながりの関係のことです。地球上の生きものは生命誕生以来、40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、少なくとも3,000万種ともいわれる多様な生きものを生み出してきました。これら全ての種には一つひとつに個性ともいえるべき特徴があり

また、食物連鎖を通して、お互いに直接または間接的に支えあって生きています。

生物多様性条約では、守っていくべき生物多様性には、「生態系の多様性」・「種の多様性」・「遺伝子の多様性」という3つのレベルがあるととしています。

■ 3つのレベルの多様性

1. 生態系の多様性（生物の住む環境が色々あるということ）

*森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの自然があります。

2. 種の多様性（生物の種類が色々あるということ）

*動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生きものがあります。

3. 遺伝子の多様性（遺伝的な変化が色々あるということ）

*同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様・生態などに多様な個性があります。

この季節、沢の風が気持ちいい6号路を通って山麓から山頂まで歩いてみては？沢好きな生き物たちとの出会いが楽しめます。

夏の虫情報

オニヤンマ、ミルンヤンマ、アサギマダラ、ヨツシジハナカミキリ、ヒメコブオトシブミ、フラススメの幼虫、オナガアゲハ、アカハナカミキリ

6号路のパスルクイズ!

誰の仕業かな? 道端のフン

道の真ん中や石の上の目立つところに、時々直径1cmくらいの細長いフンがちよろりんとして落ちていきます。よく見ると、中には木の葉の種などが…。さて誰のしわざでしょう。答えは左にあるパスルを組み立てると出てくる動物だよ。



千ドリノキの種

カエデらしくない葉っぱですが、カエデの仲間。その証拠にぼら、くるくる回るプロペラ型の種がついています。



しぶとく咲くよ。タマアジサイ

アジサイと言え梅雨の花。でも玉のようなつぼみをつけるタマアジサイは、夏中花が楽しめます。



不思議な形のヤマホトトギス

7~9月、噴水が吹き出したような不思議な形の花を咲かせます。



水の中の生き物

川の中には様々な生き物たちが住んでいます。石をひっくり返してみると、サワガニがはい出てくるかもしれません。観察したあとは、元の場所に戻してあげてね。



8本足でもクモじゃない! ザトウムシ

足もとをゆらゆらと揺れながら走り去る虫。登山道でたくさん目にしますが、実は自然が豊かなところにしか住めない生きものなんです。詳しくは、ビジターセンター窓口でセルフガイドを配付しています。



暑い夏は、風が吹き抜ける尾根つたいのコース、稲荷山はいかがでしょう。晴れた日には、とっても眺めのいい展望台もありますよ。

セミの声を聞いてみよう!

道がならかなところではセミの声に耳を傾けてみませんか!? 季節や時間帯によってセミの種類も変化します。すごく近くで鳴いているようにも見つけるのは至難の技です。



ゆうびん道

昔の郵便屋さん、この辺りを越えて集落へ郵便物を配達をしていたそうです。今は入れませんが、石積みが目印になってその名残を見つけることができます。

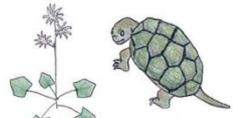


夏の虫情報

ナナフシモドキ スミナガシ
アサギマダラ ミンミンゼミ
ノコギリカミキリ ツクツクボウシ
ナガゴマフカミキリ

キッコウハグマの葉に注目!

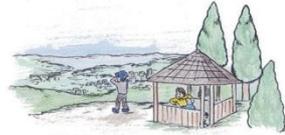
葉っぱの形がカメの甲羅(こうら)に似ていることから名前が付いた「キッコウハグマ」。キクの間ですが、その花はとっても小さくてチャームングです。



見頃: 9月~10月

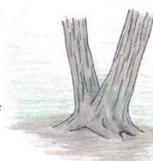
見晴らし&おやすみポイント!

晴れた日には、千葉・埼玉方面が見渡せます。コースのほぼ中間地点で、休憩にもってこいの場所です。



根元が分かれた木!

稲荷山コースの南斜面には、むかし地域の人々が利用していた雑木林があります。利用された木は、株元から2本や3本に分かれているので、すぐに見つけることができます。サクラやドングリの木が多いようです。



クサギ

稲荷山の最初の階段が終わるあたりに、クサギという植物があります。花が咲くといい香りがして、アゲハの仲間もやってきます。大人の手のひらサイズの葉っぱを見つけたら、そっと触って見て下さい。何とも言いえない香りがします。見頃: 9月~10月



至高尾山口駅
ケーブルカー
清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

3号路

飛び石

大山橋

山麓へ

高尾ビジターセンター

山頂

稲荷山コース

至高尾山口駅

ケーブルカー

清流駅

山麓

2号路に合流

岩屋大師

琵琶滝

1号路に合流

生きものたちの葉っぱのつかいわけ

生きものの中には、利用する葉っぱを限定しているものもいます。そんな生きものは特定の木がなければ生きていけません。ここでは、そんなワガママ（！？）な生きものたちに登場してもらいましょう。

イタヤハマキチョッキリ

名前の由来は"イタヤ"カエデ（などのカエデのなかま）の葉を葉巻（"ハマキ"）のように巻く、"チョッキリ"（という虫）という意味なのです。卵を葉にくるみながら巻き、生まれた幼虫はその葉を食べて大きくなります。巻いて落とした葉の様子を昔の人が、落とした手紙（文→フミ）のように見立てたことから名前がつけられました。



イロハモミジ

ヒゲナガオトシブミ

イタヤハマキチョッキリと同様に、卵を葉にくるみながら巻き、生まれた幼虫はその葉を食べて大きくなります。巻いて落とした葉の様子を昔の人が、落とした手紙（文→フミ）のように見立てたことから名前がつけられました。



アブラチャン

オオムラサキ

国蝶として知られているこのチョウ、幼虫のときにはエノキのなかまの葉しか食べません。この大きな蝶は、限られた種類の木が支えています。



エノキ

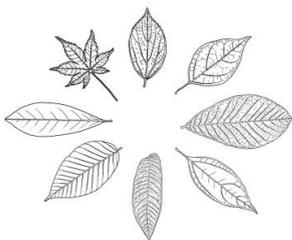
カラスアゲハ

オオムラサキと同様に、幼虫の時に食べる葉が決まっています。ミカンのなかまの葉を利用するのですが、高尾山ではカラスザンショウの葉が多いようです。



カラスザンショウ

生物多様性を支えるたくさんの葉



生きものが豊かな高尾山、その命を支えているのは高尾山にあるたくさんの木々なのです。そんなことを思うと紅葉も少し違った表情を見せてくれるかもしれません。今年の秋は、いつもとちょっとちがった葉っぱの見方をしてみませんか？

葉っぱのちがい

高尾山にはたくさんの種類の葉っぱがあります。ここでは大まかに3つの種類にわけて見てみましょう。これがわかれば、ちょっと葉っぱの表情がちがって見えてくるかも！

落葉広葉樹

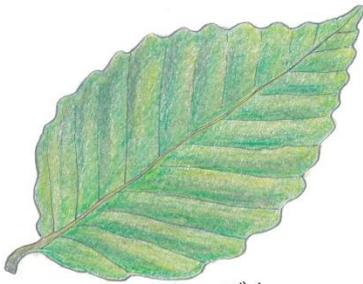
毎年秋から冬にかけて葉を落とし、春にまた新しい葉を出す種類。冷温帯に分布する。

常緑広葉樹

落葉樹と違い、葉が落ちるまでに1年から3年くらいかかる。葉が一年中緑色をしていて、表面がつるつるしているのが特徴。暖温帯に分布する。

針葉樹

そのほとんどが"針"のように細い葉を持っている。常緑広葉樹のように一年中、葉が緑色をしているものが多い。



ブナ



シラカシ



カヤ

“落ち葉ウォーク” ノススメ



高尾山の森は冷温帯林（比較的寒い地域の森）と暖温帯林（比較的暖かい地域の森）が隣り合っていて、その境目に当たるのが1号路なのです。

また、尾根や沢など様々な地形があります。各研究路によって環境が異なるので、それぞれ特徴のある葉っぱを見ることができます。

3号路

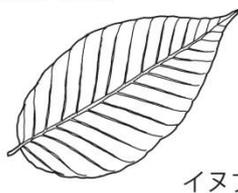
高尾山の南側にあたり、表面がつるつるしている常緑樹の落ち葉が多い。アカガシ、シラカシ、シロダモ、ヤブツバキなどがよく見られる。



シロダモ

4号路

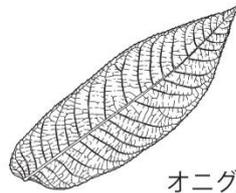
高尾山の北側にあたり、秋から冬に色づいた落葉樹の落ち葉を楽しめる。イヌブナ、エノキ、イタヤカエデ、ホオノキなどがよく見られる。



イヌブナ

6号路

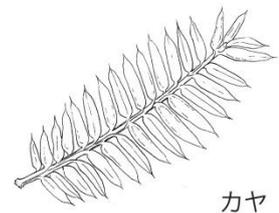
川に沿う道のため、渓流沿いを好む木々の葉と出会うことができる。オニグルミ、カエデのなかまなどがよく見られる。



オニグルミ

どこでも

針葉樹の間は高尾山のいたるところで見ることができる。モミ、イヌカヤ、カヤなど。



カヤ

◆～ムササビプロフィール～◆



◆ムササビ観察のコツ① 日没時間を知ろう

ムササビは、生活のリズムがきちんとしており、日没後30分ほどすると巣穴から出てきます。

日没時間を調べておけば、ムササビを観察できる可能性が高くなります。ただし、高尾山は夜になると真っ暗になってしまうので、懐中電灯を必ず持って行きましょうね。

◆ムササビ観察のコツ② 鳴き声を聞こう

静かにして、聞き耳を立てましょう。鳴き声が聞こえてきたら、その方向を探してみましょう。

子供が野外で活動を始める7月頃や、12月の繁殖期では、ちょっと変わった鳴き声が聞こえることがあります。

ちなみに、ビジターセンターの伴解説員ばんは、ムササビの鳴きまねが上手です。お越しの際は伴ばんにリクエストしてみてくださいね。

◆ムササビの食べ物

ムササビは樹木の葉や花、実などを食べています。夏の高尾山では、例えばこんな植物を、ムササビは食べ物としています。



ムササビの食べ物メニューは、季節によってさまざまです。どんな植物を食べているのか、探してみてくださいね。

◆ムササビの〇〇

地面の上で、このようなサイズの茶色い玉を見つけたら、もっと周りを探してみましょう。それが一体、何かというと……ムササビの「フン」です。

見つけやすい場所は、薬王院境内、1号路の舗装道です。最初は難しいですが、慣れてくるとすぐ分かるようになりますよ。



担当：





高尾山自然研究路情報

今回はムササビ特集！ムササビの素顔にせまります！

下図は、ムササビの食べあとと、巣穴の場所を1年を通じて調査したものです。

1号路で活動した様子がうかがえます。ムササビの生活のあと、探してみませんか？



★ 巣穴の発見場所

ムササビは、大木にできた「洞」を巣に使います。洞の周りの樹皮がささくれていると、巣に使っている可能性が高いです。

木の洞以外にも、リフトやケーブルカー駅の屋根裏、薬王院の軒先などに作られた巣が今までに観察されています。

★ 食べあとの発見場所

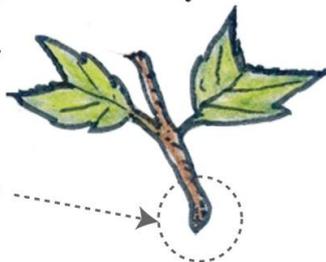
ムササビの食べ物は、ほとんどが植物です。木の葉などの食べあとが、道に落ちていることがあります。彼らの特徴ある食べあとを探してみましょう。



特徴①
葉が左右対称にかじられています。



特徴②
枝の元が斜めにかみ切られています。



入り口の大きさは、大人の両手の人差し指と親指をあわせてできる輪の大きさ（直径約15cm）くらいです。

ヘビがいっぱい高尾山！

高尾山にはヘビが8種類もいるって、ご存知でしたか？苦手な人も多いけれど、とっても個性的で素敵な仲間たちですよ。

登山道で遭遇！？

気温が高くなってくると、登山道でヘビに出会うことがあります。ヘビを見かけるとビックリしてしまうと思いますが、ヘビたちは日向ぼっこをしに日当たりの良い場所に出てきているだけ。もしも余裕があったら、どんなヘビか見てみてください。

高尾山のヘビ
全8種

昼行性のヘビたち

日本で一番大きくなる
アオダイショウ

水辺が好きな
ヤマカガシ

小さくておとなしい
ヒバカリ

4本ストライプの
シマヘビ

幻のヘビ
シロマダラ

夜行性のヘビたち

美しさNo.1!?
ジムグリ

意外と臆病!?
マムシ

ミミズが主食
タカチホヘビ

これからの秋の季節は、ハチたちが活発に行動します。人にとっては恐ろしいイメージの強いハチですが、一方で自然環境にとっては大切な存在でもあります。

今回は、そんなハチたちの世界に迫ってみましょう。

※ ハチの写真は、実物大です。
巣は縮小してあります。



クロスズメバチ

とても小さく、ハエと勘違いしやすい真っ黒なスズメバチです。オオスズメバチと同じように、巣は地面の下や、木のウロなどに作ります。体が小さい分、巣も小さめです。



オオスズメバチ

世界で一番大きなスズメバチです。巣は地面の下や、木のウロなどの隙間に作ります。ハチの体も大きいので、巣も巨大！この巣だと縦横それぞれ40cm程もあります。



キイロスズメバチ

体がオレンジに近い黄色で、街中にも進出しているスズメバチです。巣は軒下などの雨風が避けられる場所に作ります。

体は小さいですが、巣は大きくなることが多いようです。



コガタスズメバチ

オオスズメバチとよく似ていますが、二回りくらい小さい体の特徴です。

巣はキイロスズメバチと同じように、軒下等の雨風が避けられる場所に作ります。巣の規模が小さい時は、お酒を入れるトックリのような形をしています。



鳥をみつける方法

鳥を見つけるには、2つのコツがあるよ。簡単なので試してみてね！



1 「耳をすましてみよう！」

鳴き声や落ち葉の上を歩き、カサカサたてる音、木を突く音など音をたよりに探してみよう

2 「全体をぼんやりと探してみよう」

1点に集中して探すのではなく、全体をぼんやり見渡し、探してみよう。全体を広く見るようにすれば、木の枝が動いたり、鳥が移動するところを見つけやすくなるよ！

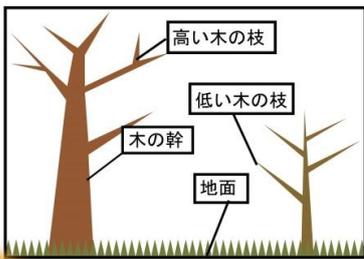
鳥の実分け方 4つのポイント

でも種類を見分けるのは難しい？
いえいえ！この4つのポイントさえ押さえれば、案外カンタンですよ！



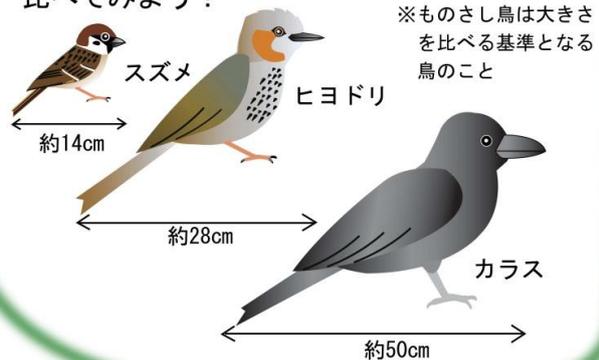
1. 場所

みつけた鳥はどこにいた？
高い木の枝？低い木の枝？
木の幹？地面？



2. 大きさ

体の大きさはどれくらい？
身近な3種の鳥（ものさし鳥※）と大きさを比べてみよう！



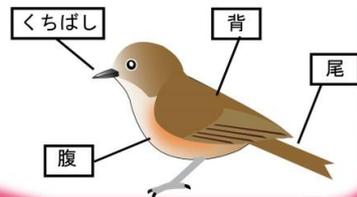
4. しぐさ、鳴き声

木の幹を上る、ピョンピョンはねる等のしぐさ、鳴き声にも注目してみよう。



3. 色、模様

くちばし、背、腹の色、もように注目してみよう！



その他にも・・・数

冬鳥は同じ種類だけで群れるもの、他の種類の鳥と群れるもの、単独で群れないものがある。

高尾山オトシブミレポート

2015.5.1 揺籃づくり観察記録

ヒゲナガオトシブミ
Paratrachelophorus longicornis



実物大

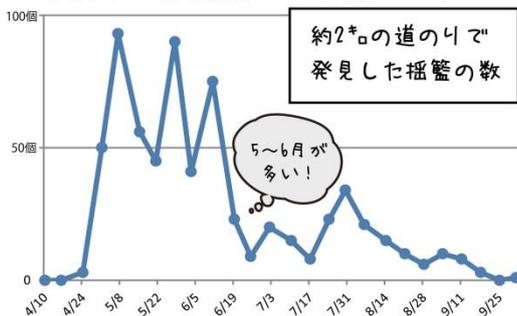
みなさんはオトシブミという昆虫に出会ったことがありますか？
“揺籃”と呼ばれる葉巻きをつくってその中に卵を産み、幼虫が巻かれた葉を食べて育つという、変わった生活をしている小さな昆虫です。

今回は解説員が調べた高尾山のオトシブミ事情を紹介します。



オトシブミの活動が盛んなのは春～初夏

(調査地：日影沢林道～いろはの森コース)



4月から9月まで、毎週同じ道を歩きながらオトシブミの揺籃の数を数えてみました。その結果は、5～6月が見つかる数が多くオトシブミの活動が盛んであることを示しています。

登山道を歩いていて、葉っぱを巻いているオトシブミに出会いやすいのもこの時期です。

12:50

ヒゲナガオトシブミ(メス)がやってきて葉の上を歩き始める。

12:55

葉の柄の近くに切り込みを入れる。すると葉が垂れ下がってくる。



13:00

巻きやすくするため葉にかみあとをつける。

13:10

下から葉を巻きあげていく。くるくる巻くのではなく、小さく折りこみながら巻き上げていく。



13:15

どこからともなくオスがやってきて交尾を始めるが、メスは休むことなく巻き続ける。



13:20

上まで巻き上げられる頃オスはどこかへ去りメスは最後の仕上げに、葉がほどけないよう折り紙の技法でいう“かぶせ折り”を使う。



13:23

切り込みを入れた場所を完全に切りはなしてしまう。揺籃はポトリと落ち、これにて完成となる。



高尾山の オトシブミたちは それぞれにちがう 植物の葉を巻く

フサザクラ

イヌブナ

エゴノキ

ハクウンボク

アブラチャン

ビロードアシナガオトシブミ

春先、イヌブナの芽吹いたばかりの葉を巻く。数は少なく見つけづらい。

ヒゲナガオトシブミ

高尾でもっともよく見られる。春先はイヌブナの葉を、初夏にはアブラチャンやフサザクラの葉を巻く。オスは首が長い。

エゴツルクビオトシブミ

初夏、エゴノキやハクウンボクの葉を巻く、真っ黒なオトシブミ。オスは首が長い。

キブシ

ウスモンオトシブミ

キブシの葉を巻くオトシブミ。春先より夏によく見られる。

高尾山の

オトシブミたちは

それぞれにちがう

植物の葉を巻く

ケヤキ

ルイスアシナガオトシブミ

前足のカコぶのような部分が特徴的。山のふもとでも見られ、ケヤキの葉を巻く。

ヒメクロオトシブミ

全身黒色でつやつや光る小さなオトシブミ。ノイバラやフジの葉の上でよく姿が見られる。

ノイバラ

コブオトシブミ

6号路など、沢沿いの道の脇でコアカソやクサコアカソの葉を巻く姿がよく観察される。

カシルリオトシブミ

体全体に金属光沢がある。フジやイタドリの葉を巻く。

フジ

イタドリ

クサコアカソ

多様な植物が生育する高尾には、たくさんのオトシブミがいる

今回の調査で、高尾山では8種のオトシブミが11種の植物を利用しているのが確認されました。種によっては2種類以上の植物を利用していましたが、だいたい他の種と利用する植物が重ならないように住みわけていることがわかります。

オトシブミは、たった一枚の葉だけを食べて成虫になる、植物ととても深いつながりを持った昆虫です。たくさんのオトシブミが見られるということは、それを育むさまざまな植物が生育しているということ。多様な植物がみられる高尾山の登山道は、オトシブミの観察をするにも最高の場所です。この春は、皆さんの観察ターゲットにオトシブミも加えてみませんか？

高尾山フィールド・リサーチ

発見！生物多様性！！

WANTED

見つけたら場所をチェック！

生物の せいぶつ 名前 なまえ (和名 わめい) が書かれています。空欄があれば、調べて記入してください。

見つけた場所 ぼしよ を番号 ばんごう で表 あらわ します。地図 ちず にも番号 ばんごう を記入 きにゅう します。

写真 しゃしん の生き物 いきもの を見つけることが課題 かだい です。

見つけたらその場所 ぼしよ を地図 ちず に記 しる しましょう。



? の欄 らん には、高尾山で見つけた生き物 いきもの を記録 きろく し、名前 なまえ を調べてみましょう！

写真 しゃしん を撮 と って後 あと で貼 はり り付け つけ ます。

●●●●●●●● : ⑧



ムササビ しよっこん の食痕 しょくこん : _____



ムササビの食べた葉 のこり の残り とうじつ です。当日、

採集 さいしゅう できたらビジターセンターへもつていき、チェックしてもらってください。

正解 せいがい なら、校長 とくべつけんしょう からの特別懸賞 とくべつけんしょう を GET!

植物を確認せよ！



アカショウマ : _____



オオバジャノヒゲ : _____



ヤマユリ : _____



テイカカズラ : _____



ヤマグワ (実) : _____



ヤマアジサイ : _____

WANTED



ヤマホタルブクロ : _____



サワハコベ : _____



ドクダミ : _____



ハナイカダ (実) : _____



マタタビ (白い葉) : _____



マタタビ (花) : _____

植物を確認せよ！



イロハモミジ (種子) : _____



ナワシロイチゴ (実) : _____



_____ カンアオイ : _____



_____ アオキ : _____



_____ ウマノミツバ : _____



_____ ギンリョウソウ : _____

昆虫を確認せよ！



キジョラン (葉) : _____



キジョラン (実) : _____



アサギマダラ : _____



アサギマダラ (幼虫) : _____



カラスアゲハ : _____



フクラスズメ (幼虫) : _____

WANTED



ナナフシモドキ : _____



フキバツタ : _____



クマバチ : _____



ルリタテハ : _____



オトシブミ : _____



オトシブミ揺籃 (葉巻き) : _____

目標の生物を確認せよ！



オオバボタル 陸生ホタルの仲間 : _____



ラミーカミキリ : _____



アカハナカミキリ : _____



クロオサムシ : _____



ニホントカゲ : _____



ザトウムシ : _____

新たな生物を確認せよ!



ガビチョウ : _____



キビタキ : _____



キジバト : _____



コゲラ : _____



アマガエル : _____



ヤマアカガエル : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____



見つけた生きものを記録し名前を調べよう！

_____ : _____

高尾山MAP

稲荷山コース



高尾山MAP

6号路

山頂 ▲599m

5号路

高尾ビジターセンター

高尾山・陣馬山コース

展望台



大山橋

3号路

薬王院



仏舎利塔



吊り橋



4号路

浄心門

たこ杉



2号路

展望台



さる園
野草園



高尾山駅



山上駅



1号路

稲荷山
コース

前ノ沢

びわ滝



ケーブルカー

エコーリフト

清滝駅



山麓駅



W.C

W.C トイレ×1ヶ所

茶屋×0ヶ所

お弁当ポイント



